



発行所
長崎県病院企業団
長崎県中対馬病院
〒817-0322
長崎県中対馬市美津島町御加甲 1304-1
TEL0920-54-2024
FAX0920-54-4171

理念
私たちは、地域に住む人々に
信頼と安心を提供できる
病院を目指します

第36回長崎県地域医療研究会

救急看護認定看護師としての地域連携に向けた取り組みへの考察



救急対応は知識や技術が要求され

ているほか、様々な重症度の患者に対応しなければならず、医師からの指示が異なるため、不安やストレスを抱えています。それにより職務に不満があることが考えられます。そこで、医療従事者の救急対応に関する不安やストレスの実態を把握し、今後の課題を明らかにすることで当病院だけではなく他の施設との連携した取り組みを明らかにするという目的で研究を行い、今回発表させていただきます。

研究にあたり、島内二次病院3施設の看護師252名と、島内消防署の救急救命士および標準課程修了者77名の計329名に協力を得ることができました。アンケートの結果、9割の医療従事者が不安やストレスを感じていると分かり

ました。不安やストレス軽減のための取り組みとして、「取組んでいる」「誰かに相談している」と答えた人は36%で不安やストレスを解消するために「自分の知識、技術を磨く」、「先輩や同僚に聞く」、「勉強会の参加」など取り組んでいました。62%の人は取り組めていないのが現状でした。そんな中、救急対応では多くの知識や技術が必要とし、いづ

どんな患者がどれくらい来るのか予想がつかず緊張した状態が持続しているため、不安やストレスの程度が高くなっていると考えられます。また、救急対応の状況の予測がつかず、少数数で対応するために頼る人が少ない中で、助けられないことによる無力感、罪悪感を感じており、すなわち、救急対応は心的外傷を受けやすい状況で職務を遂行していることが考えられました。

そこでこの様な状況に対してサポートシステムの構築が重要であると考えます。まず、救急対応の予測がつかないストレス反応が生じます。そこにストレス促進因子が加わることで累積されたストレス因子は心的外傷の形成(移行する)ともあるため、ストレス因子を出

来るだけ少なくする方が良いのですが職務の性質上不可能と考えます。ストレス因子は個人の予防する能力や自身を知る能力によって決定されるものであり、ストレス因子への介入には効果的なストレス対処方法を身に付ける取り組みが重要となります。そこで、ストレス対処方法の緩衝要因として、島内での勉強会や講習会の充実、ID(インストラクショナル・デザイン)を活かしたシミュレーション教育が必要であり、また、話し合いの場や医療従事者間のピアサポート体制を整える事が予防につながると考えます。

から重点的かつ優先的に支援を始めていくことが、今後の離島における救急看護認定看護師の地域連携に向けた取り組みと考えます。

今回、長崎県地域医療研究会で発表させていただきます。救急対応に対する医療従事者の負担を軽減するとともに、離島での救急看護認定看護師の役割について考えるきっかけとなりました。僕は救急看護認定看護師となりましたばかりでまだまだ未熟者ですが、救急対応の勉強会やシミュレーション教育に関して認定看護師が必要だと言われるようになりたいと考えています。認定の資格を持つだけでなく色々な知識や技術を持った先輩方や多くのスタッフが身近にいて、すぐに相談できる強みもあります。今回の研究で明らかになった部分も含め救急看護認定看護師として、離島における救急医療の充実のために「実践」「指導」「相談」を忘れず、臨床教育に取り組んで皆さんとスキルアップしていきたいと考えます。

救急看護認定看護師

平武 晃幸

中対馬病院での研修を終えて

杏林大学病院 八谷 隆仁 先生

一ヶ月間中対馬病院で大変お世話になりました。

一ヶ月間を振り返り、中対馬病院に来た一週目、何に一番苦労したかと考えたところ、まずは言葉でした。はじめは先生方や看護師さんのいうこともなかなか聞き取ることができなかつたです。その状態で外来に出たので患者さんのいうことはほとんど聞き取れず、外来の

看護師さんたちに通訳してもらっていました。さすがに三週目中ごろからは、一緒に研修していた仲間の教えもありそこそこわかるようになってきて、自然と対馬弁？九州弁が話せるようになった気がします。ありがとうございます。

私は今までずっと大対馬にいましたので、これが初めての一般病院で、しかも離島というなかなか経験することのできない環境で研修させていただき非常に充実した研修になりました。

仕事の内容に関して

は、午前中は基本的に外来、そのあとは入院をさせた患者さんの管理や、整形の手術に入らせていただきました。ここでは一人の患者さんを自分で入院させて検査し、レントゲンし、治療し、退院までみるという大学では絶対できないことができ、とても勉強になりましたし、それと同時に責任感を感じながら仕事をすることができました。もちろん自分一人ではできないので、周りの先生方や看護師さんに

助言を頂きながらです。

そのほかには大学ではなかなかできないエコーや内視鏡もさせていただきました。エコーに関しては、検査科の小田さんにいろいろと教えていただき、整形外科や外科の先生には、筋トレやプロテイン、骨折の初期治療、画像の見方、縫合や手技、内視鏡、内科の先生には入院中の必要な検査や診断、治療方針等いろいろなことを教えていただきました。

同期に倒してもらいました。(、いたるところに、いる蛍光色の蜘蛛や、やたらと足の速い蜘蛛、病院内を歩く蟹まで、はじめは恐怖で怯えていましたが今となってはいい経験ができたと思っています。

また、都内の病院では見ることのできない疾患もいろいろ経験できました。ハチやムカデ咬傷、その他にも今まで知らなかった対応等を学ぶことができました。実際に生まれて初めて生きているムカデを見ましたし(宿舎の前



また、どこかでお会いした際はよろしくお願

いたします。

長崎大学病院 芦塚 賢美 先生

平成 26 年 10 月に入院患者の対応や急患一ヶ月間お世話になりました。の対応などを行いました。

業務としては、主にこの一ヶ月の研修は、午前中新患外来で診察し、午後は手術に入り、手が空いているときは



今までの研修は、各診療科の中の臓器や病態で分けられた各班の中にある各チームの指導医に付いて回り、その先生やチームが専門とする疾患を診るのがほとんどでした。

中対馬病院では、内科全般の様々な疾患の患者さんを診ることができ、外来で初診から



みて、自分で診断し治療を行い、外来や入院で経過をフォローするなど、大学病院ではできない様々な経験をさせて頂き、とても濃い一ヶ月でした。

また、先生方、看護師の皆様方に親身になって細かく指導して頂きました。一つの症例や出来事に対して色々な科の先生方の意見を聞けるということは、大層ありがたいので、

食べられる魚を釣ったときの喜びを学べたのもよい経験でした。最後にありますが、右も左も分からない一年目研修医の私に優しく、詳しく指導をして頂いた先生方、看護師、検査技師、事務、リハビリの皆様方、そして二年目研修医の先生方にお礼申し上げます。

一ヶ月間本当にありがとうございました。



新古賀病院 服部 悠一 先生

10月1日から1ヶ月間、地域医療研修として中対馬病院で研修をさせていただきました。新古賀病院研修医2年目の服部悠一です。



午前には内科外来に初
導医の先生とチームに

診で来られた方の診療、なつて診療に当たるので、午後は整形外科の手術があればそれに入り、救急要請が入った場合には適宜対応するというスケジュールでした。

元研修先では、指
決めるようになっていま
した。

しかし、ここ中対馬
病院では午前の初診外
来、当直業務、また担
当の入院患者さんに関
してはあくまで自分が
主治医であり、諸先生
方にコンサルトさせてい
ただいたとしても最終
的な方針は自ら立てな
ければなりません。今



まで自分がどれだけ楽
をしていたかというのを
感じるとともに、3年
目以降の独り立ちに向
けてより責任感を持つ
て臨まなければならな
いと思いました。

また、診療科が限ら
れていることや、高齢独
居で近くに親族もいな
いといった患者背景等、
街中の総合病院ではな
かなか経験することが
ないような状況も多々
あり、一つ一つ思い悩み、
結論を出していく中で
自分の幅も少し広げる
ことができたような気

がします。
その中で経験豊富な
スタッフの皆様によくの
アドバイスをいただきな
がらなんとかこなして
くことができました。こ
の場をお借りしてお礼
申し上げます。

初日にして芦塚先生が
イカを釣り上げたとい
うこともあり、夕方仕
事が終わると毎日のよ
うに3人で釣りに出か
けていました。なかなか
釣れずこのまま終わる
かと思う時もありまし
たが、第3週についてイ
カを釣り上げることが
できました。また週末
を利用して白嶽登山や
シーカヤックにも出か
け、対馬の大自然を満
喫することができまし
た。

また、診療科が限ら
れていることや、高齢独
居で近くに親族もいな
いといった患者背景等、
街中の総合病院ではな
かなか経験することが
ないような状況も多々
あり、一つ一つ思い悩み、
結論を出していく中で
自分の幅も少し広げる
ことができたような気

がします。
その中で経験豊富な
スタッフの皆様によくの
アドバイスをいただきな
がらなんとかこなして
くことができました。こ
の場をお借りしてお礼
申し上げます。

初日にして芦塚先生が
イカを釣り上げたとい
うこともあり、夕方仕
事が終わると毎日のよ
うに3人で釣りに出か
けていました。なかなか
釣れずこのまま終わる
かと思う時もありまし
たが、第3週についてイ
カを釣り上げることが
できました。また週末
を利用して白嶽登山や
シーカヤックにも出か
け、対馬の大自然を満
喫することができまし
た。



最後にありますが、
諸先生方を始めとして、
多くのスタッフの皆様
に支えられて1ヶ月間充
実した研修を送るこ
とができました。
本当にありがとうございます。
ございました。

中対馬病院で得たも
のを今後の診療で活か
せるよう頑張っていきた
いと思います。

6施設交流バレーボール大会

こんにちは。リハビリの飛鳥です。

先日10月4日に豊玉高校体育館で行われた6施設交流バレー大会に中対馬病院の最後のメンバーとして参加させてもらいました。元々バレー経験はなく遊びでやっていた程度だったので練習の時から足でボールを扱ってみたり、勢い余ってネットに思い切りしがみついたり、ルールすら知らないひどい状態



予選敗退。もう1チームは準決勝に進んだので午後からはおいしい昼ごはんをたくさん食べた後に応援に力を注ぎました。しかし、準決勝の相手だった上対馬病院に惜しくも敗れ2連覇という夢は潰れてしまいました…。

続く3位決定戦では、い

でした…。

本番当日では選手宣誓を仰せつかりました。緊張していたので何を誓ったのか覚えていません。

今回は中対馬病院最後ということと、前年の覇者ということもあり2チーム編成で挑み、優勝を目指して頑張りました。私はありがたいことにフル出場を果たしました。恐れ多い反面、とても最後まで楽しくバレーをすることができました。成績は1勝1敗で予選敗退。もう1チームは準決勝に進んだので午後からはおいしい昼ごはんをたくさん食べた後に応援に力を注ぎました。しかし、準決勝の相手だった上対馬病院に惜しくも敗れ2連覇という夢は潰れてしまいました…。

つばら病院との対決でしたが、お互い日頃の運動不足を気合というメッキで隠していたのが徐々に剥がれはじめました。ここから僕の理学療法士としての思わぬ仕事が始まりました！相手チーム、味方チーム関係なく足をつつて動けなくなった選手をコートの外に運んで治療を行って、良くなったと思ったらまた次の選手が足を引かずつてコートから出てきて治療！と最後にめぐるしい程動き回りました。皆さん日頃の運動の大切さや準備運動の大切さが身にしみてわかった日ではなかったでしょうか。

みんなで記念撮影をして楽しいバレー大会は終わりました。試合中の緊張感や応援で点数を入れた時の白熱感は何とも言えない久しぶりの感覚でした。また、このバレー大会を通して普段の仕事では交流がない人たちと関わることができてとても貴重な体験となりました。毎年行われている行事なので来年の為に私は筋トレをしています！来年も参加してまた新しい病院での初メンバーで初優勝を目指して頑張っていこうと思えます。まとまりのない文章になりましたが、この内容をまとめると、①バレー大会は楽しかった！②来年も頑張ろう！③準備運動が大事！ということでした。最後まで精読していただきありがとうございます。

理学療法士

飛鳥 仁志

ゴミ作戦

10月18日、早朝から今年最後であり、中対馬病院としても最後のクリーン作戦が行われました。今回が初参加の私は、今まで目を向けようとしなかった病院周辺の状態に驚いてしまいました。こんなにも雑草やゴミがあったのかと感じました。実際に作業を行っていて想像以上のゴミの量が取れました。

普段ではあまりしない中腰の姿勢を長時間していたので途中から腰の痛みを伴いながらの作業で非常につらかったです。しかし、作業を続けていくうちに、きれいになっていく様子を見てみると自然とやる気が出てなんとか最後まで作業できました。最終的に、参加された方のゴミを集めて捨てる時にあらためてゴミの山をみるとこんなにも病院周辺に多くのゴミがあることと、多く取れたことでそれだけ中対馬病院がきれいになったん

だなど実感できました。作業中はつらい時もありましたが、終わってみると充実感がこみあげてきて、このような形で中対馬病院に対して力になれると思えました。

最後に今回で中対馬病院として最後のクリーン作戦になりましたが、今後は、新病院でまたこのような機会があれば参加して病院に少しでも貢献できれば幸いですと思えました。

そして、できるだけ最後まできれいな中対馬病院のままであつてほしいので今後は、ゴミが落ちていないか周辺に気を配りながらゴミがあればそれを拾って捨てるように心がけようと思えます。

理学療法士 上野 雄平



「松村日記」その十二

月日の経つのは早
い物で、今年も残り2
ヶ月となりました。こ
の前紅白歌合戦で北
島三郎や大島優子さ
んが卒業うんぬんと
言っていた様な気も
しますが。若い頃によ
く「一年の計は元旦に
あり。」と聞いていた
のが身に染み入る気
がします。年々加速す
る感じは否めません。
皆さんも実り多い年
になりましたでしょ
うか、来年の事も、今
なら鬼も笑いはしな
いでしようからまた
歳を重ねますが少し
でも良い年にして行
きましようね。

さて先日、約30年
振りに検査学校の友
人に会う機会があつ
たので、今回はその話
を少々書いてみたい
と思います。人生は
人間としてずーっと
遡ると返す返すも両
親の存在に他なりま
せんが生を受け成長
を重ねて生き、その後
の社会人と言われる
ようになる頃またそ
の前後の意味で考え
ますね。

だから色々な形容を
身にまとい光輝く
感じになり見える人
には見えるオーラみ
たいな物を感じたり
するのでしょうか。あ
いにく私は見た事は
ありませんし見えま
せん。



この前、私が検査学
校で出会った人と先
日30年振りに会う
機会があり連絡した
のですが、快く再会を
約束してくれた人の
事を今から書きます。
（午後年休取得まで
すみません。）
彼は沖繩から福岡
の検査学校に来てい
たのですが、気が付け
ば週末、ほぼ彼の家に
お邪魔するように成
っていました。本当に
今、考えてもいつから
交流が深まったのか
定かではありません。
彼は私より歳は少し
上で既に子供もいる
家族持ちでした。そん
な彼の家庭的な雰囲気
に自然と引き込ま
れていったのでしょ
うか。再会した時本当
に懐かしかったので
すが、30年の空白も
何のその、今までの時
間を一気に取り戻す
ように会話は途切れ
ませんでした。男同士
でしたが、年賀状だけ
の付き合いと思つて
いましたが、自分でび
っくりする位、話はつ
きませんでした。お酒
でも酌み交わしなが
らと書けば風景が良
いのですが私は下戸
です。（笑）
このまま3年間の
出来事を書いても読
者には辛いし私が痛
い人と思われるので
此れ位で話をもどし
ます。多分今の私が
あるのは彼の存在が
一番と思えるから今
回のテーマで書いて
います。「ルーツ」で
すが彼とは検査技師
の免許を取るとい
大義の基に会いま
す。これは当然必然で
すね。定時制学校でし
たが、入学時、私は別
に病院勤務以外のア
ルバイトで通学して
いました。柳橋連合市
場です。しかし夏に病
院の採用試験があり、
通ればまあそっちが
検査技師も含め勉強
になるかと受け無事
に宗像郡の個人病院
への採用の運びとな
りました。（無常にも
配属は放射線科勤務



でしたが)では引越
しです。お盆明けから
の勤務です。高校出た
てで運転免許と言っ
てもノーヘルで乗れ
る(今では不思議でし
ようが当時は楽チン
ノーヘルでした。)原
付自転車の免許しか
所有しておらず、ここ
でセカンドコンタク
ト。運転免許を持って
いる彼が私の宗像郡
までの引越しの運
転手を快諾してくれ
ました。この前会った

時も当然この話題に
なりましたが何故引
き受けてくれたのか
答えはでませんでし
た。(笑)一人暮らし
にて家庭の味に飢え
てる私は彼が誘って
くれたれば週末、鍋に招
待してくれました。や
はり南国育ちの彼は
冬の寒さが堪えてい
たらしいです。

分を恥じたことか、後
に合流した奥様が助
け舟をすぐに出して
下さってその場を取
り持つことはできま
したが「だって、あの
当時みんな貧しかつ
たよね。」—確かに
—とこの場でもう一
度お礼を述べます。

と思われるのですが、
結婚するまで一緒に
働いたことはありま
せん。で更にもう一つ
の繋がり、友人に妻の
勤めている病院を紹
介したのが私の職場
の上司です。ここから
はかなり古い話なの
で本心に記憶に無い
のですが想像するに、
その上司に彼を紹介
したのは、どうも私の
ようでした。この一連
の偶然、何か凄いでし
よう。「神のみぞ知る
様な、それで懐かしく

です。」こんなだから
“縁は異なるもの味な
もの”と言うのですよ
ね。色んな事象が偶然
ですが人口は140
万人と40倍もあり
ます。米軍の基地問題
報道でニュースを見
ない日も珍しくはあ
りませんが町並みは
白いコンクリート壁
が多く地中海風を思
わせます。台風対策な
のか瓦屋根は余り見
ませんし異国情緒に
満ち溢れていました。

長崎の異国情緒とは
また違う感じですが、あ
と鹿児島と東京にも
同じ位の年賀状の友
が居るのでまた違う
ルーツの旅を計画し
たくなった私でした。
感謝。

検査 松村 栄治



長崎県中対馬病院

平成26年11月 外来診療予定

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科① 新患	野口 雄司	俵 正幸	俵 正幸	貞光 隆志	野口 雄司
内科② 再来	俵 正幸	貞光 隆志	貞光 隆志	俵 正幸	俵 正幸
内科③ 再来	貞光 隆志	野口 雄司	野口 雄司	野口 雄司	貞光 隆志
午後外来	野口 雄司	貞光 隆志		俵 正幸	
救急車・病棟対応	内:野口 外:山口	内:貞光 外:古閑	外:山口	内:俵 外:古閑	内:野口 外:古閑
外科①	古閑 敦彦	山口 健一	古閑 敦彦	山口 健一	山口 健一
整形外科①	寺谷 威	寺谷 威	寺谷 威	寺谷 威	寺谷 威
整形外科②	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀
皮膚科			12日・26日 九州大学病院	13日・27日 九州大学病院 予約のみ 6日・20日 長崎大学病院	7日・21日 長崎大学病院 予約のみ
眼科			毎週 九州大学病院		
耳鼻科			毎週 福岡大学病院	毎週(午前) 福岡大学病院	
神経内科		18日 大村市民病院			
泌尿器科			5日(午後~予約のみ) 長崎大学病院	6日 長崎大学病院	
肝臓外来					21日(予約のみ) 長崎大学病院
女性専門外来		18日(予約のみ) (聖フランシスコ病院)			
腎臓外来					14日(予約のみ) (聖フランシスコ病院)
胃内視鏡	山口	古閑	江口12日・26日 福岡大学病院 5日・19日	古閑	古閑
大腸内視鏡			江口12日・26日 福岡大学病院 5日・19日		
気管支内視鏡			野口		
心エコー	検査科	検査科	検査科	検査科	検査科
透析	村瀬・貞光	村瀬・貞光	貞光	村瀬・貞光	村瀬・貞光
リハビリ	理学療法	理学療法	理学療法	理学療法	理学療法

☆事業所健診は、8月で終了しました。

☆診療費のお支払いはクレジットカードが、ご利用できます。(お問い合わせ先 医事係 平江まで)

長崎県中対馬病院

〒817-0322 長崎県対馬市美津島町鶏知甲 1304 番地 1号

T E L 0920-54-2024(内線 105/750)

F A X 0920-54-3317(専用)

E-mail renkei@oregano.ocn.ne.jp

地域医療連携室(担当:江嶋)

長崎県中対馬病院のホームページを開設しています。

<http://www5.ocn.ne.jp/~tusima/>